

経営健全化方針に基づく取組状況（令和2年度）

○法人名：株式会社ルネサンス棚倉

○経営健全化方針を策定した理由：

平成30年度債務超過額が171,573千円発生したため、策定したものの。

○財政的リスクの状況

	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額 (千円)	171,573	135,970	208,225	0
事業の内容に応じて時価で評価した場合の債務超過額 (千円)	0	0	0	0
損失補償、債務保証 及び短期貸付けの 合計額(A) (千円)	310,000	310,000	310,000	100,000
標準財政規模(B) (千円)	4,158,865	4,185,982	4,454,497	—
実質赤字比率 (%)	—	—	—	—
(A)／(B) (%)	7.5	7.4	7.0	3%未満

○主な取組状況（令和3年6月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、ホテルも営業停止や自粛を余儀なくされるなど集客に大きな影響が出たため、光熱費を多く使用する施設の停止や縮小営業などにより経費削減を図った。
- ・不採算部門であった乗馬部門の閉鎖及び、職員が複数の業務をできるよう教育・研修し一専多能化を図った人員削減、修繕の内製化などを行い前年度比 80,193 千円のコスト削減とした。
- ・アフターコロナ時代へ向け、これまでメインとしてきた首都圏の学生合宿など団体客受入れから、マイクロツーリズムへ向けた施設及びサービスの準備を進めた。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・毎月1回実施している連絡調整会議において、毎月の目標に対する実績の点検・評価や企画内容等について提案するなど助言、指導を行った。
- ・公益財団法人日本ソフトテニス連盟に売却したテニスコート用地について、連盟による選手強化を目的とした拠点施設整備が完了し、日本代表等による合宿が年間約2,000泊程度見込まれる。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算
資産総額	118,404	83,475	178,979
（うち現預金）	56,979	31,136	125,581
（うち売掛金）	8,033	3,710	4,695
（うち棚卸資産）	4,417	3,204	2,042
負債総額	289,977	219,446	387,204
（うち当該地方公共団体からの借入金）	40,000	80,000	120,000
純資産額	△171,573	△135,970	△208,225

（損益計算書から）

（単位：千円）

	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算
売上総利益	231,360	240,148	82,023
販売費及び一般管理費	336,443	326,912	246,720
経常損益	16,138	35,788	△70,759
当期純損益	15,953	35,603	△72,255